

## 地域防災Newsとは

名古屋市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）をはじめ地域の皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けいたします。

南区柴田学区

# 指定避難所 開設運営訓練

## 要配慮者の避難対策が進められています

### 個別避難計画作成モデル事業

避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るため、令和3年5月の災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされました。

本市においても身体状況や災害リスクを踏まえ、優先度の高い方を対象に、令和5年度から南区にて個別避難計画作成モデル事業を開始し、令和6年度は6区、令和7年度からは全16区への拡大を予定しており、要配慮者の避難対策を推進してまいります。

12月1日南区柴田学区において、「指定避難所開設運営訓練」が実施され、災害対策委員等を中心に住民の方が参加しました。学区内の各指定避難所において、避難所開設や避難者受け入れ訓練、情報伝達訓練が行われました。

また、名古屋市防災アプリを活用した訓練も併せて実施され、避難行動要支援者と支援者の方々が避難先や経路を確認しながら、一緒に避難しました。

## 名古屋市防災アプリのダウンロードはこちら! ▼



Android



iOS



防災アプリを活用した訓練

令和  
6年

# 能登半島地震



石川県輪島市等で震度7を観測するなど大きな被害を与えた令和6年能登半島地震の発生から令和7年元日で1年となりました。能登半島地震では、能登地域の特徴である、古い瓦屋根の木造住宅の倒壊や土砂崩れにより、多くの犠牲者が出ました。また、道路や水道等のインフラの被害も大きく、半島の山間地を結ぶ道路が各地で寸断されたため、救助や支援物資の輸送が困難となりました。

本市でも南海トラフ地震の発生が想定されており、地震直後の状況下では、地域で助けあう「共助」が不可欠です。いざという時に互いに協力できるよう、災害時だけでなく、日頃からの声掛けなど、地域のつながりを深めておくことが大切です。また、自分や大切な人の命を守るためにも、家具固定や、水・食料、携帯トイレなどの家庭内備蓄など、日頃からの備えや地震が起きたときにどう行動するのか、改めて考えておきましょう。

石川県輪島市等で震度7を観測するなど大きな被害を与えた令和6年能登半島地震の発生から令和7年元日で1年となりました。能登半島地震では、能登地域の特徴である、古い瓦屋根の木造住宅の倒壊や土砂崩れにより、多くの犠牲者が出ました。また、道路や水道等のインフラの被害も大きく、半島の山間地を結ぶ道路が各地で寸断されたため、救助や支援物資の輸送が困難となりました。

名古屋市公式 Web サイト

被災経験から学ぶ講演会はこちらから!



名古屋市公式 Web サイト

名古屋市の支援の詳細はこちら!

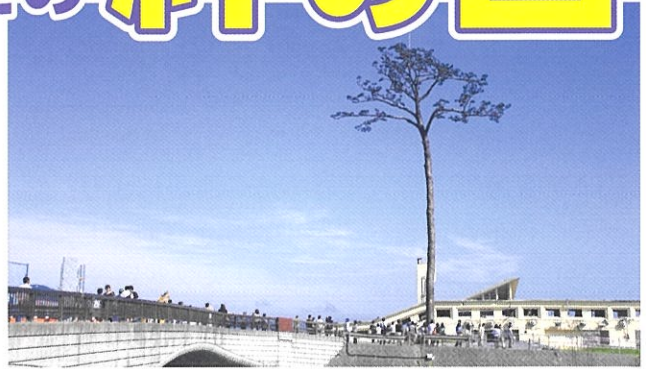


毎年3月23日は

## 陸前高田市との絆の日



「奇跡の一本松」後継樹 (東山動植物園)



奇跡の一本松 (陸前高田市)

名古屋市公式 Web サイト  
イベント詳細はこちら!

今年度で協定締結10年の節目を迎え、3月23日を中心に様々なPRイベントを実施します。3月23日当日はオアシス21とサカエヒロバスにおいて「絆の日記念交流イベント」を開催し、奇跡の一本松の根を特別展示するほか、テレビでお馴染みフリーアナウンサーの石井亮次さんによる防災トークセッションや、陸前高田市グルメ応援大使の彦摩呂さんによる、ご当地グルメ実況など各種催しを予定しています。ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、是非、会場へお越しください。

岩手県陸前高田市と本市は、東日本大震災を契機として開始した「行政丸ごと支援」を縁として、平成26年10月に友好都市協定を締結し、これまで両市は同協定に基づき様々な分野で交流を推進してまいりました。

令和3年には、陸前高田市から本市へ友好の証として「奇跡の一本松」後継樹が贈呈され、本市では、毎年3月23日を陸前高田市との「絆の日」とし、陸前高田市へ思いを寄せ、震災の記憶や教訓を忘れずに、防災について考える日としています。

